

◆第5学年 71名

題材名 僕らのハーモニー はちおうじっ子！

曲名 『おはよう ゆでたまご』『くいっこ なりっこ』

+リズムアンサンブル（音楽づくり）『君の空見上げて』

八王子市立第一小学校 指導者 村上 友美 主任教諭

1 児童の実態と題材設定の理由

本学年の児童は、2年生より音楽専科が受けもっている。友達と関わり合い、意見を交流しながら互いを認め合う雰囲気大切に学習してきた。思いを伝え合う学習に意欲的な児童は多いが、消極的な児童もいる。自分の考えをもち、それを伝え合い、歌唱表現を工夫する学習で楽しさを味わうようになってほしい。題材「曲想の変化を感じ取ろう」では、商店街の多い本校の地域性を生かした教材『おはよう ゆでたまご』を取り扱う。歌詞の内容や曲想とその変化を感じ取って、旋律の特徴や音楽の構造との関わりを理解し、曲の特徴にふさわしい表現を工夫できるようにする。題材「音の重なりを感じ取ろう」『くいっこ なりっこ』+リズムアンサンブル（音楽づくり）では、旋律の重なり方の違いと曲想との関わりについて理解し、それらを生かした表現を工夫する。曲中のリズムを生かして、リズムアンサンブルをつくる学習に発展する過程で更に表現を広げ、深めていく。題材「思いを表現に生かそう」『君の空見上げて』では、卒業式で6年生に思いが伝わる合唱を目指し、グループで曲の特徴にふさわしい表現の仕方を工夫することで、音楽が自分の思いを表現する手段であることを実感する。以上の3つの題材の学習を通して、一人一人が自分の考えを表現に生かす力を身に付けるようにする。そして、地域を愛する気持ちをもち、のびのびと歌声を響かせて表現できる児童を育てたいと考えている。

2 大会主題に迫るための手立て

(1) 主体的な学びの視点からの学習過程の工夫

学習の導入時に、思いを伝える相手や場面を具体的に想定し、伝えたい思いをもって教材と出会うようにする。自分たちの思いや出会った曲のよさを伝えるために、どのように表現するか、どのように学習していくのかを考え、ワークシートに記入する。また、目指す表現に必要な技能を自分

たちで試しながら身に付けるようにし、学習の成果を実感できるようにする。

(2) 学びを広げ深める、対話を生かした学習の充実

歌唱の学習では、自分の思いや考えをもち、ペアやグループで交流しながら表現を工夫する。その過程で、自分の考えを確認したり、友達の異なる意見や表現に触れたりすることで、自分の考えや表現を深めていくようにする。また、歌唱教材の中で使われているボディーパーカッションのリズムパターンから音楽づくりに発展する学習では、一人一人がリズムをつくり、グループでつなげたり重ねたりしてリズムアンサンブルをつくる。その過程で、対話を通してつくり上げる楽しさを味わい、学びが深まるようにする。


(3) 学びを生かし、つなげる指導と評価の工夫

本題材では、自分たちの地域に誇りをもち、その思いを友達と共に音楽で表現していく学習が、自分自身の生活を豊かにしていくことを実感できるようにしたい。また次年度の自分たちの卒業式で、思いや意図をもって協働して表現を工夫し、つくり上げる学習につながることを目指すようにする。児童がどのような思いをもって学習するかを考え、その学びを次の学習につなげていく年間指導計画を作成する。

助言者の言葉

教師のどんな働きかけで子供の「ああ、なるほど!」「私はこう歌いたい」を引き出そうか、子供同士のどんな関わりで「それいいね!」の思いを共有させるか、八王子の先生方と日々の授業を磨いてきた。歌で“地域を愛する気持ち”を表現するとは、歌の本来の姿の一つである。その地域に生きている子供にしか出せない歌声がある。歌う事が困難な今こそ、この研究をみんなのものにし、子供の姿に思いを馳せたい。

日野市立七生緑小学校 指導教諭 後藤 朋子

<p style="text-align: center;">八王子市立 第一小学校 第5学年 台本 題材名「僕らのハーモニー はちおうじっ子！」 曲名『夕やけ こやけ』(二部合唱) 『おはよう ゆでたまご』(二部合唱) 『くいっこ なりっこ』+リズムアンサンブル(二部合唱+音楽づくり) 『君の空見上げて』(二部合唱)</p>		
	〈児童の動き〉・「セリフ」	照明計画
≪第1場≫ 入場 0' 00" 1' 30"	〈ヴォカリーゼで『夕やけ こやけ』を歌いながら入場。 ひな壇に4列で並ぶ〉	暗転 オレンジになっ たら児童入場 ピアノ伴奏が終 わったら、暗転
≪第2場≫ ①児童 ②児童 ③児童 ④児童 ⑤児童 ⑥児童 4' 00"	「コケッココー！」〈元気よく〉 「私たちの住む八王子は『夕やけ こやけ』の曲で有名です。学校 は八王子駅の近くにあり、商店街がにぎわっています」 「私のウチは梅干し屋さん。つやつやの大きな梅干しがおすすめ ！」 「ぼくのウチは呉服屋さん。ぼくは6代目だよ」 「私のウチはうどん屋さん。おすすめは、お母さんがあげてくれ る、ゆで卵の天ぷら。黄身が真っ黄色で美味しいんだよ」 「卵っていえば、朝、ゆで卵を食べると元気になるよ」 『おはよう ゆでたまご』を合唱する)	同時に少し暗め の白 少しずつ 明るくしていく 全灯
≪第3場≫ ⑦児童 ⑧児童 ⑨児童 ⑩児童全員 8' 00"	「夏休みに、山梨のおばあちゃんのお家に行ったとき、『くいっこ なりっこ』の天ぷらが出てきたよ」 『くいっこ なりっこ』って、なに？」 「さやえんどう、のことだって。実がなるのが早くてどんでんでき て、食べるのが追い付かないから、こんな名前になったらしい よ」 「へえ～」 『くいっこ なりっこ』を合唱する。1番と2番の間の間奏部分 にリズムアンサンブルを入れる。リズムアンサンブルをする児 童は、前へ出て演奏。4グループ発表(1グループ8小節)最後 は全員でテーマのリズムパターンを演奏する。(8小節)歌の最後 はポーズを決める。ライトが青に変わったら、ポーズを戻す)	前へ出てきた児 童に、スポットラ イトをあてる 歌い終わったら 青
≪第4場≫ ⑪児童と⑫児童 の会話 11' 00"	「もうすぐ卒業式だね」「6年生、卒業しちゃうんだね」「さびし いね」「私ね、6年のトモカさん、大好きだった」「どうし て?」「委員会だね、やることが分からなくて困っていたら、 優しく教えてくれたんだ」「すてきな6年生だね」「うん、だか ら私、卒業式の歌、トモカさんにありがとうの気持ちをこめて 歌いたい」「私も素敵な6年生になりたいな」 〈前奏が始まったら、児童全員が空を見上げる〉 『君の空見上げて』を合唱する)	
≪第4場≫ 退場 11' 30"		指揮者の礼で暗 転 すぐに、薄い灯り にして児童退場